



発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行責任者：般若陽子

編集責任者：般若慎一郎

上の写真は鑄物公園内にある二宮金次郎の銅像です。よく働きよく学ぶ模範的な少年像として、昭和初期に全国の小学校で競って建てられました。中にはセメント製のものもあるが銅製のものは殆どが高岡で作られ、一時は大ヒット商品でした。公園の銅像は、平成10年に高岡銅器研究会創立30周年記念として平和合金から寄贈されたものです。

町並保存の住民説明会



4月17日、金屋町公民館において市の文化財課による主題の説明会がありました。金屋の町並みを重伝建選定に向けて、もうそろそろ詰めの作業をしないと後が無くなってきているとの認識からスピードアップを見込んでいます。この日の説明は、制度など過去の説明会の繰り返しのような内容でしたが、この後夏ごろに次回説明会で具体的に対象地区の提案などを行い、秋には住民の合意確認の段階に、そして来年春には選定を目指すというスケジュールを進めていく見込みです。



財団法人地域活性化センターが主催するコンテスト「第15回ふるさとイベント大賞」において、「金屋町楽市 in さまのこ」が奨励賞に選ばれました。3月8日に東京国際フォーラムで表彰式が



あり、伊東順二実行委員長と加藤昌宏自治会長が出席しました。今年、金屋

町の開町400年にあたり、9月ごろに記念行事や祝賀会を行なう予定ですが、鑄物資料の文化財指定に続き祝賀ムードにはずみがつく出来事であり、大変喜ばしい事です。

ちなみに今回富山県内から南砺市の「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2010」が優秀賞を受賞しました。また過去には第1回において、高岡市の「万葉集全20巻朗唱の会」が大賞を受けています。

富山県ふるさとCM大賞



チューリップテレビが県内各自治体と共同で2

000年から開催している主題のコンテストで、今年の高岡市作品は開町400年の金屋町を題材にして約30秒のビデオを作り応募してくれたのですが、残念ながら入賞には漏れました。

金屋町おもてなしマップ

金屋町まちづくり協議会では、平成22年度の市民協働事業として市から予算援助を受けて、金屋町観光マップを新たに製作しました。このマップは特に鑄物工房や鑄物販売店にスポットをあて、工房主や店主の顔が見えるマップ作りを意図し、およそ1年間をかけ何回も会合を重ねてようや

く完成にこぎつけたものです。

まちづくりとは？②



マップに掲載した町並みでの集合写真に
高橋市長にも参加していただきました

西条校下公民館

今まで空白であった西条校下公民館の建設をかねてから住民が要望していましたが、このほど建設されることが決まりました。場所は西部中学校むかひの農地で、早ければ来年にも着工する見込みです。

東日本大震災への義援金

高岡市連合自治会として被災地へ義援金を送ろうということで協力要請があり、金屋町自治会では1戸あたり500円をまとめて協力させていただきました。

やがえ節の元唄を発見

眼科医の氷見さんから、自宅で古い資料を整理していたところやがえ節の元唄テープが出てきたと知らせがありました。かなり傷んでいたのですが、富山テレビの協力により修復し、CDに収められました。現在の唄とはかなり違います。鋳物資料館にCDを1枚置いてありますので、興味がある方は聴いてみてください。



まちづくり会議を設置し、住環境研究会、空家対策委員会、駐車場対策委員会などを置いて物理的環境改善を講じていくことを前回は提案しました。この事についてもう少し詳しく述べてみたいと思います。

住環境研究会というのは、うなぎの寝床を快適な住空間へと改善するための会議です。例えばテレビ番組「ビフォー・アフター」で、重伝建地区の古民家を外観は維持しながら大胆にリフォームして、快適住宅に変身した事例が紹介されています。そのような事例を研究し、うなぎの寝床の住民に住環境改善を具体的に提案することがこの会議の役割です。アドバイザーとして建築の専門家に参加してもらえるといいですね。



空家対策委員会は、町内にこれ以上空家を増やさないことと、既にある空家の

活用を促進することが任務です。まずは町の中に点在する空き家の実態を把握する必要があります。空家の所在を特定した台帳を作り、個別に所有者は誰か、売却・賃貸など、所有者はどうしたいと考えているのかなどを調査した上で、住宅が欲しい人とのマッチングを図っていくことです。駐車場対策委員会は、町並みを壊さないで駐車場を確保することが任務です。町内や周辺にある貸し駐車場の実態を把握し、駐車場需要と供給のバランスをとることです。

~~~~~  
金屋町開町400年記念  
シリーズ  
金屋町と高岡鋳物の歴史  
今回はお休みさせていただきます。